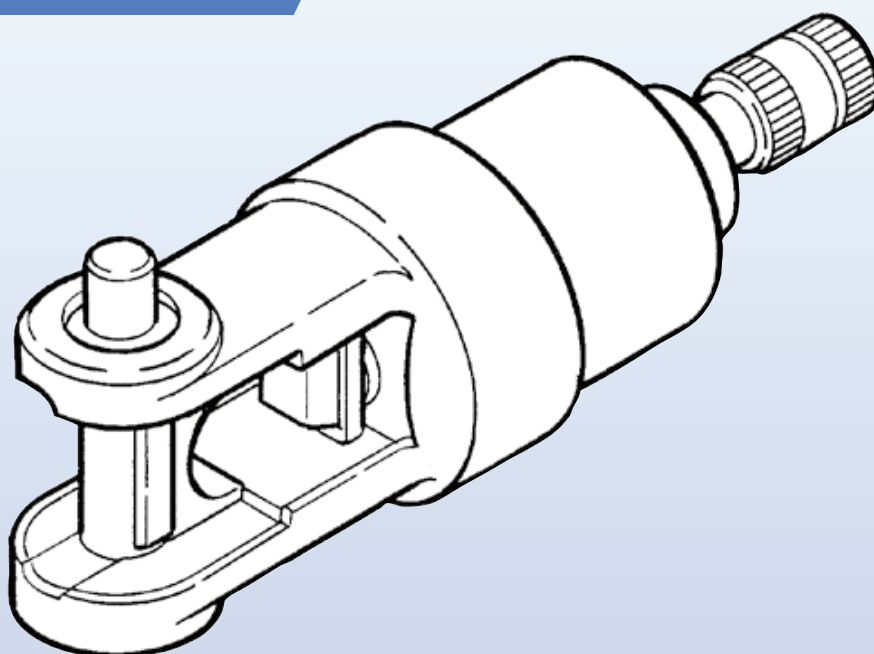


油圧ヘッド分離式工具ヘッド部

12号H

取扱説明書



- 本製品は、イズミ製のJIS規格（JIS C 9711）対応ポンプと組み合わせて使用すると、JIS C 9711に適合します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

マクセルイズミ株式会社

このたびは、お買い上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本工具の取扱い、注意事項等について説明してありますので使用の前によくお読みのうえ、正しく安全に使用してください。

— も く じ —

■安全上のご注意	 P 1 ~ P 3
■使用上のご注意	 P 4
■各部の名称および標準付属品・仕様	
ダイスと電線の組み合わせ表	 P 5
■使用方法	 P 6
■保守・点検・スライドバー取付け手順	 P 7
■アフターサービスについて	 P 8

安全上のご注意

- 使用する前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「⚠警告」、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を「⚠注意」として記載しています。
なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告

1. 感電に注意してください。
 - 工具は絶縁仕様ではありません。通電箇所で使用すると感電の恐れがあります。
2. 取扱説明書に掲載する仕様内の圧着作業に使用してください。
 - 仕様外の作業を行うと工具が破損して障害や損傷をおよぼす恐れがあります。
3. 圧着端子（スリーブ）のサイズに適合したダイスを使用してください。
 - 組み合わせを誤ると、工具が破損し障害や損傷をおよぼす恐れがあります。
4. 作業中の工具の可動部に触れないでください。
 - はさまれたり損傷した破片などが、飛散する恐れがあります。
5. ヘッド部を人に向けたり手や顔を近づけるような使用はしないでください。
 - 破損し飛散する恐れがあります。
6. 作業場の周囲の状況も考慮してください。
 - 工具は雨の中で使用したり、湿ったまたは、ぬれた場所で使用しないでください。感電の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の恐れがあります。
7. 指定ダイスを使用してください。
 - 取扱説明書および弊社カタログに記載されているダイス以外のものは使用しないでください。
故障やけがの原因となる恐れがあります。
8. 作業中は、保護メガネを使用してください。
 - 粉じんや破片が目に入る恐れがあります。



注 意

1. 高所作業の時は、下に人がいないことをよく確かめて作業を行ってください。
 - 材料や工具を落としたとき等、事故の原因となります。
2. ヘッド部およびダイスなどにひび、割れ等の異常がないことを確認してから使用してください。
 - 破損し、けがの原因となります。
3. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
4. 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外工具に触れさせないでください。けがの恐れがあります。
 - 作業者以外作業場に近づけないでください。けがの恐れがあります。
5. 使用しない場合は、きちんと収納してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。可動部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めのついた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの恐れがあります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。可動部に巻き込まれる恐れがあります。
7. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。

注 意

8. 工具は、注意深く手入れをしてください。

- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付着しないようにしてください。けがの恐れがあります。

9. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

10. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認してください。
- 部品の破損、取付け状態、そのほか作動に影響するすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。

11. 工具の修理は、販売店または弊社営業所に依頼してください。

- サービスマン以外の方は工具を分解したり、修理・改造は行わないでください。異常作動してけがをする恐れがあります。
- 工具の異常に気付いた場合は点検修理に出してください。
- 本製品は、該当する社内規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店または弊社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

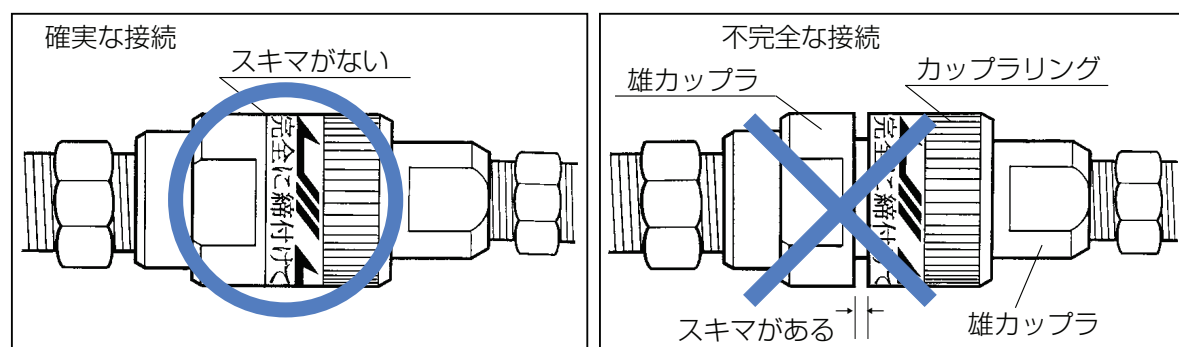
■使用上のご注意

先に「安全上のご注意」を記載しましたが本工具を使用する際、さらに次に記載する注意事項を守ってください。

使用上のご注意

■使用上の注意事項

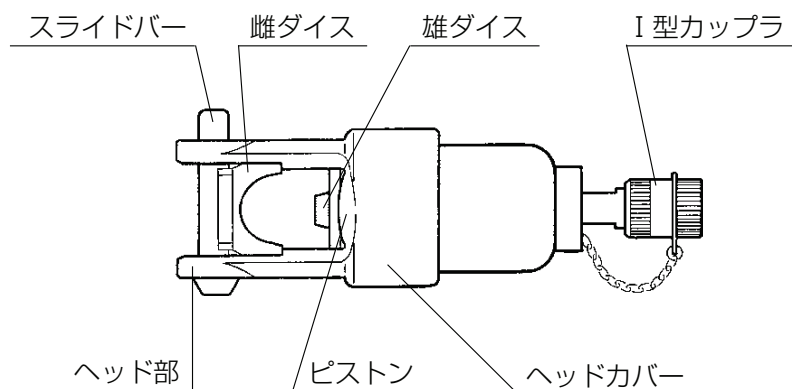
- 必ず圧着する電線、端子（スリーブ）雄ダイスおよび雌ダイスの組み合わせは誤りのないようにしてください。接続性能上悪影響が生じるだけでなく、工具破損の原因となりますので充分注意してください。
- 工具に使用する油圧ポンプは、使用前に点検を行い使用油圧力が 65.1 ～ 71.9MPa の範囲に調整されていることを確認してください。
- カラ押し操作はしないでください。特に雄ダイスと雌ダイスのサイズの異なる組み合わせでのカラ押しは、工具破損の原因となりますので絶対に行わないでください。



- カップラの接続は確実に行ってください。不完全な接続で使用しますとピストンが上昇しなかったり、上昇したまま下がらないことがありますのでご注意ください。また、カップラに異物が付着していたり汚れている場合は、異物や汚れを取り除いてください。そのまま無理に接続しますとパッキンを傷め、油もれの原因となります。
- カップラの接続は、ピストンを下降終点まで下げた状態で行ってください。
- 工具は、落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 工具を保管する際は、工具に付着した水、泥などきれいな布等で拭きとり、ピストンを下降終点まで下げて保管してください。
- 圧着作業時には、油圧ポンプの圧力規制装置が作動し工具ピストン部の圧着完了ライン（黒線）が完全に見えたことを確認し、確実な圧着作業を行ってください。圧着完了ラインが見えない場合には、直ちに作業を中止し工具の点検・修理を行ってください。

■各部の名称および標準付属品

●油圧ヘッド分離式工具ヘッド部 12号H



- 雄ダイス 5 個 (22-60, 70-100, 150-200, 250, 325)
- 雌ダイス 7 個 (60, 80, 100, 150, 180, 200, 325)
- スチールケース

■仕 様

適用する電線コネクタのサイズまたは呼び	60～325mm ²
適用する電線コネクタの種類	JIS C 2085 銅線用裸圧着端子 JIS C 2086 銅線用裸圧着スリーブ直線突合せ用 (B) JIS C 2086 銅線用裸圧着スリーブ直線重合せ用 (P)
公称出力	196kN
使用油圧力	68.5MPa
質量	4.8kg
JIS 適用油圧ポンプ	R14E-A1, R14E- F , HP-700A

■ダイスと電線の組み合わせ表

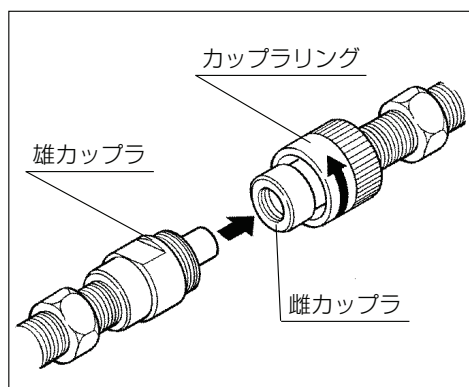
適用電線 コネクタの呼び	雄ダイス呼び	雌ダイス呼び	電線の組み合わせ mm ²		
			JIS C 2805 銅線用裸圧着端子	JIS C 2806	
				直線突合せ用 (B)	直線重合せ用 (P)
60	20 - 60	60	60	60 と 60	22 と 22
80	70 - 100	80	—	—	22 と 60
100		100	100	100 と 100	38 と 60
150	150 - 200	150	150	150 と 150	60 と 60
180		180	—	—	60 と 100
200		200	200	200 と 200	100 と 100
325	250	325	250	250 と 250	150 と 150
	325		325	325 と 325	

注：電線呼び250とコネクタ呼び325の圧着は雄ダイス250，雌ダイス325の組み合わせになります。

■使用方法

1. 工具の雌カップラに油圧ポンプの雄カップラを挿入しカップリングを確実に締めつけます。

(図 1)



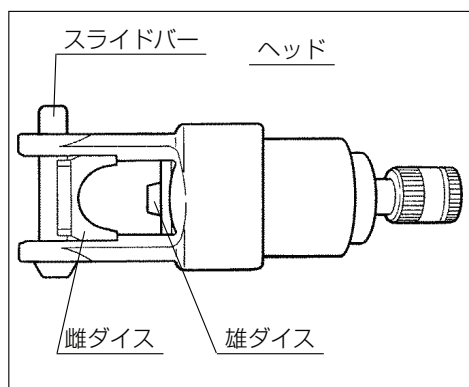
(図 1)

2. 圧着する端子（スリーブ）により適合ダイスを選定してください。（ダイスと電線の組み合わせ表参照）

3. スライドバーを止まる位置まで引き抜いてください。

4. 選定した雄ダイスはピストンへ雌ダイスはヘッドに確実に装着してください。

(図 2)

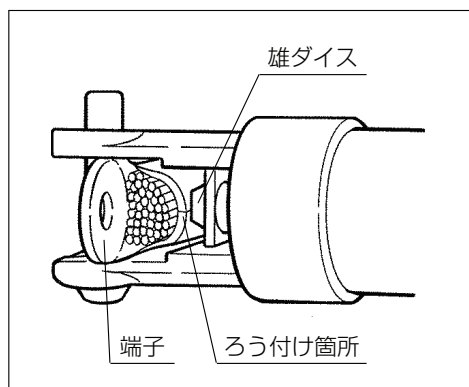


(図 2)

注：スライドバーの差し込みが不完全なまま圧着作業を行うと、工具破損の原因となります。

6. 圧着する端子（スリーブ）へ電線を筒部端より心線が1mm程出るか突き当たるまで挿入し、ろう付け箇所を雄ダイス側に合わせ筒部が中心になるように保持しながら油圧ポンプを操作し圧着を行ってください。

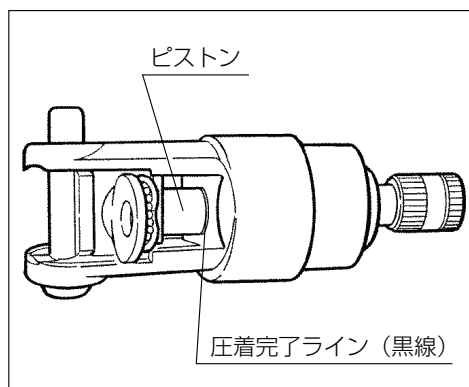
(図 3)



(図 3)

7. ピストンが上昇し油圧力が規定圧力に達すると油圧ポンプの圧力規制装置が作動します。この時ピストンに表示された圧着完了ライン（黒線）が見えていることを確認してください。圧着完了ラインが見えていれば圧着は正常に完了しました。

(図 4)



(図 4)

8. 油圧ポンプを操作して、ピストンを下降終点まで戻してください。

9. スライドバーを止まる位置まで引き抜き圧着した端子（スリーブ）を取り外してください。

■保守・点検

1. 日常の保守・点検を怠りますと、工具の故障原因になりますので注意してください。
2. 工具のスライドバーは、消耗交換部品ですので1万回の作業（圧着）ごとに交換を実施してください。なお交換作業は、お買い上げの販売店または弊社営業所へご依頼ください。
3. 工具の円滑な作動およびサビの発生を防ぐため、できるだけ湿気をさけて保管し、摺動する部分には時々機械油を注油してください。
4. 日常の保守・点検が十分であれば、故障の生じる事はありませんが、万一生じた場合、最寄の代理店、または弊社営業所へお問い合わせください。

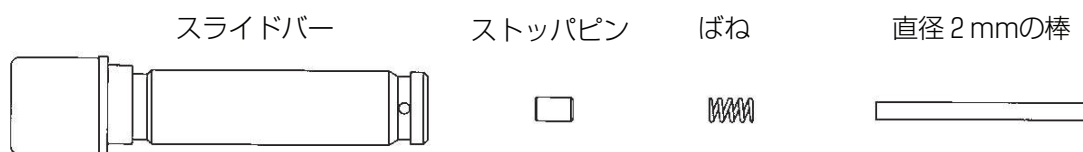
■スライドバー取付け手順

警告

- スライドバー、ストッパピン、ばねは、取付け工具に適合したものを使用してください。適合していない部品を使用すると工具破損の原因となります。
- 取付けを行う工具のスライドバー取付け穴に、変形、割れ等の異常がないかよく確認してください。異常のある場合は、最寄の代理店または弊社営業所に修理・点検をお申し付けください。
- 取付けの際、工具の不意の始動を防ぐため、油圧ポンプから工具を取外してスライドバーの取付けを行ってください。

使用部品

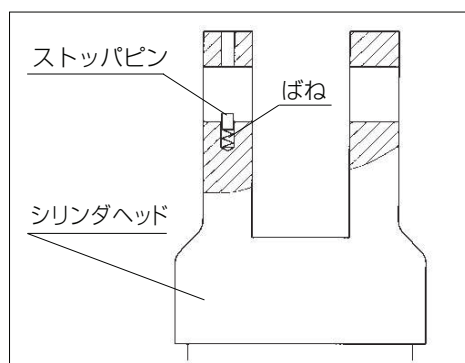
スライドバーを取付けるには、以下の部品と工具が必要となります。



上記部品、工具のほかにグリスが少量必要です。

取付け手順

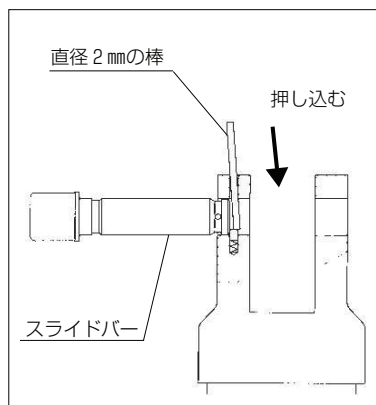
1. 工具シリンダヘッドのスライドバー取付け穴部にばね、ストッパピンにグリスを塗布し挿入してください。この時ばね、ストッパピンの順に挿入してください。（図5）



（図5）

2. 工具シリンダヘッド上面の穴から直径2mmの棒を入れ、ストッパピンを押し込んだ状態でグリスを塗布したスライドバーを挿入してください。

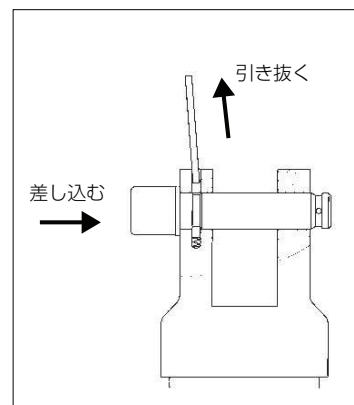
(図6)



(図6)

3. 手順2.の状態からさらにスライドバーを差し込むと同時に、直径2mmの棒を引き抜いてください。

(図7)



(図7)

4. スライドバーを完全に差し込み、何度か抜き差しの動作を行いスライドバーの抜けや、ガタツキ等の異常がないか確認し、異常がなければ取付け完了です。

■アフターサービスについて

保証書について

- 保証書はこの取扱説明書に付いておりますので、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より12ヶ月です。

修理を依頼されるとき

- サービスを依頼される前に、取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合はご購入の代理店へご依頼ください。
- 保証期間中は、ご購入の代理店まで工具に保証書を添えて修理をご依頼ください。保証書記載の内容により修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎている時は、ご購入の代理店にご相談ください。修理により工具の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 代理店にご依頼になれない場合は、お近くの弊社営業所にご連絡ください。

アフターサービスについてご不明な点は

- ご購入の代理店またはお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

マクセルイズミ株式会社

本社 〒399-8721 長野県松本市大字笹賀3039番地 ☎0263(58)5757(代) FAX0263(86)1002
東京営業所 〒151-8527 東京都渋谷区元代々木町30-13 ☎03(6891)2111(代) FAX03(6891)1700
大阪営業所 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-46(奥内第5ビル) ☎06(6533)2654(代) FAX06(6541)6298
名古屋営業所 〒465-0034 愛知県名古屋市名東区高柳町207番地 ☎052(775)5388(代) FAX052(776)2163
福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2-22-30 ☎092(483)5700(代) FAX092(483)5704
仙台営業所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井一丁目21番地の8 ☎022(287)1761(代) FAX022(287)1768

113591121-04

〈保証規定〉

1. 取扱説明書、工具貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
 - (a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に工具と本書をご提示いただきお申しつけください。
 - (b) お買い上げの代理店に無料修理をご依頼になれない場合には、お近くの弊社営業所にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - (a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (b) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷。
 - (c) 火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天災地変による故障および損傷。
 - (d) 過負荷および誤圧等による故障または損傷。
 - (e) 消耗品の損傷。
 - (f) 車両、船舶、航空機等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
 - (g) 本書のご提示がない場合。
 - (h) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、代理店名等の所定事項が未記入の場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
〔This warranty is valid only in Japan〕
4. 本書は再発行いたしませんの大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げ代理店またはお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理については取扱説明書をご覧ください。

保証書



本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は、裏面をご参照ください。

形 式	12 号H		
保証期間	お買い上げ日より 12 ヲ月		
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お 客 様	ご住所	参照用 様	
	お名前		
	電 話 ()		
※ 販 売 店	住所・店名		
	電話 ()		

マクセルイズミ株式会社

本 社 〒399-8721 長野県松本市大字笹賀3039番地 ☎0263(58)5757(代) FAX0263(86)1002
東 京 営 業 所 〒151-8527 東京都渋谷区元代々木町30-13 ☎03(6891)2111(代) FAX03(6891)1700
大 阪 営 業 所 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-46(奥内第5ビル) ☎06(6533)2654(代) FAX06(6541)6298
名古屋営業所 〒465-0034 愛知県名古屋市中東区高柳町207番地 ☎052(775)5388(代) FAX052(776)2163
福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2-22-30 ☎092(483)5700(代) FAX092(483)5704
仙台営業所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井一丁目21番地の8 ☎022(287)1761(代) FAX022(287)1768

販売店さまへ ※印欄は必ず記入してお渡してください。

キ
リ
ト
リ
線